

## 完成間近の耐震補強工事

地震等災害発生時における学生等の安全確保のため、昨年3月から始まった本館の耐震補強工事は、建物の外部・内部の鉄骨ブレース等による補強や外部塗装が完了しました。足場やシートも撤去され白とグレーのツートンカラーにリフレッシュした本館がその全容を現しました。2月からは1階の外回り、2階ベランダの整備等が行われ、3月末に竣工



全容を現した本館

の見通しです。

昨年9月に開始された医科歯科総合病院のうち研究棟（総合歯科学分野等の臨床系研究室等が配置されている部分）の耐震補強工事も、建物の外部・内部の鉄骨ブレース等による補強や窓枠取替え等がほぼ終了。この後、外部塗装、防水工事等が行われ、3月末完成の予定です。



防音シートに覆われた研究棟

## 明るく、清潔で、エコなトイレ

耐震工事と並行して、明るく、清潔で、かつエコなトイレ環境の整備を目指して進められていた本館、研究棟のトイレ改修工事のうち、本館部分については1月中に1階から9階まですべての階の改修が終わりました。現在は、研究棟部分の1,2階の改修が行われています。

今回の改修は、便器、手洗い器、配管類の経年劣化や扉、床、壁の蓄積汚れを解消するとともに、節水型自動洗浄便器・手洗い器の設置により、年間386万ℓ（小学校の25mプールの約13杯分に相当）の節

水効果を見込むなど環境にも配慮した設計となっています。また、女子学生の増加に対応するため、女子用の便座を37個から45個へ増やしたほか、大便器は全てウォシュレットに、照明スイッチには人感センサーを採用し、臭いを排除するため換気口も増設しました。

利用者からは、「明るくきれいで使いやすい」「臭いがなくて気分がいい」等、好評を得ています。



改修前

### 本館8階トイレ

改修後



改修前

### 研究棟4階トイレ洗面台

改修後



## 献体者慰霊祭

10月15日、午後1時から博多区祇園町の普賢山萬行寺において第34回献体者慰霊祭が行われました。ご遺族、施設関係者をはじめ福岡歯科大学学生及び学内外の関係者418人が参列し、厳かに献体者の尊い御霊のご冥福を祈りました。



## 実験動物慰霊祭

10月15日、午後4時半からアニマルセンターの実験動物慰霊碑前において第34回実験動物慰霊祭が行われました。日頃アニマルセンターを利用し、実験等に携わる関係者が多数参列し、実験動物の諸霊に感謝し、霊を慰めました。



## 福岡歯科大学学会総会

12月23日、福岡県歯科医師会館において第36回福岡歯科大学学会総会（会長：湯浅賢治・画像診断学分野教授）が開催されました。学内外から304人が参加し、シンポジウム「全身を診する歯科治療…口腔医学を目指して」や一般口演、ポスター展示が行われました。

なお、学会奨励賞には市原隆洋診療放射線技師（福岡歯科大学医科歯科総合病院放射線室）と大学院3年来海慶一郎氏（口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野）が選ばれました。

